

船迫中学校

学校だより 最終号

平成28年3月24日

そつ たく  
啐 啄

啐は殻の中で雛が突っつく音、  
啄は母鶏が殻を噛み破ること。  
またと得難い良い時期を意味する。

今月11日には、卒業式、そして本日、修了式を無事終了いたしました。  
1、2年生も本日の修了式で全員が進級しました。これまで、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。  
今後とも、より良い学校を目指して取り組んでまいりたいと存じます。  
今年度の「啐啄」の最終号となります。



## 第3学期修了式 校長式辞

校長 遠山 勝治

さて、2学期の終業式で、サン＝テグジュペリの「星の王子さま」という物語を紹介し、その中で、きつねが王子さまに「ものごとは心で見なくてはよく見えない。一番大切なことは目に見えないんだ。」という場面があるというお話をしました。

「大切なものは目に見えない。」皆さんは、この一年、学習や部活動、学校行事等を通して、多くのことを学び、大きく成長しました。特に、先日開催された予餞会をはじめ、迫中祭、合唱コンクール、農業体験、竹箸づくり等の行事は、全校生徒や学年全体に関わるものであり、様々な人との交流を通して「大切なものは何か」に気づく貴重な機会になったと思います。「新しいものを創り上げる喜び」、「仲間と協力し、物事を完成させる喜び」、「人との交流の中にあるさりげない優しさや思いやり」など、どれも目には見えませんが、私たちが大切にしなければならぬものばかりでした。

また、「大切なものは壊れやすい。」とも言えます。人は日常生活の中にある大切なものに気づかず、簡単にそれを破壊してしまうことがあります。壊れた後で、その大切さに気づき、修復しようと思いますが、元に戻すには長い時間がかかったり、修復できないものさえあります。今、どの時間に校舎内を回っても、すべての教室で皆さんは真剣に授業を受けています。今、放課後に部活動の様子を見て回っても、どの部も真剣に練習に励んでいます。先日の生徒集会、そして、この修了式。誰一人勝手におしゃべりする者もなく、ステージ上の話し手に真剣に耳を傾けています。先日、出張から学校に帰ると、昇降口の保健室側の入り口から、2年生の男子が体育の授業を受けるために次々と校庭に向かって駆け足で出てきましたが、すべての生徒が「こんにちは」と大きな声で挨拶をしてくれました。また、別の日には、私が廊下を歩いていると、突然、テニス部の生徒の皆さんが私の前に整列し、「校長先生、テニスコートのネットを直してくれて、ありがとうございました。」と丁寧に挨拶をしてくれました。卒業式の前日には、ここにいる1年生と2年生が忙しくかけずり回りながら、一生懸命に掃除や準備をしてくれました。誰一人、いい加減な人は見あたりませんでした。これらは、「普通の学校」の姿です。しかし、「普通の学校」ほど素晴らしいものはないと思います。「当たり前前の方が当たり前前ができる」こと位、大切なことはありません。しかし、この「普通の学校」の姿は、誰か一人が自分勝手な振る舞いをすれば、もろくも一瞬で崩れ去ります。皆さんには、今ここにある「普通の学校」姿をずっと守り通し、船迫中学校の伝統にしてもらいたいと思っています。そして、どの学校にも真似のできない「普通の学校」を皆さんの手で作り上げてほしいと思います。

また、「大切なものは努力しないと身に付かない。」とも言えます。人は自分の人生を自分の力で生きて行かなくてはなりません。それを「自立」と言います。すべてをなくした時、自分に目に見えない「考える力」、「技術」、「能力」、「健康や体力」が身に付いていれば、人は困難を乗り越え、生きのびることができます。しかし、その「考える力」、「技術」、「能力」、「健康と体力」は努力なしで、簡単には身に付きません。2年生の皆さんは、4月からは最高学年の3年生になります。船迫中学校の顔として、そして最上級生として、部活動でも学校行事でも、すべてにおいて学校の中心となります。1年生の皆さんは、4月からは中堅学年の2年生になり、1年生の後輩ができます。これまで先輩任せで済んでいたのが、これからは先輩として、1年生をリードしていく立場になります。そのような中で、すべての学年の生徒が互いに切磋琢磨し、自らを磨き高めることを忘れず、「大切なもの」を一人一人が手に入れることを願っています。

皆さんが今後 大いに活躍し、今年度の生徒会スローガンにあるように「協創」の花をたくさん咲かせることを期待して、式辞といたします。



## 生徒代表の挨拶から

僕はこの1年間がとても短く感じました。中学校での生活は、初めての体験ばかりでなにもかも新鮮で楽しく感じられました。僕が小学校と大きく違うと思ったところは、3つあります。1つ目は学習面です。僕は入学当初授業についていけないかという不安がありました。内容もだんだんと難しくなっていました。だから、もっと集中して授業を受けるよう心がけると少しずつ、ついていけるようになりました。特にテストでは小学校は単元ごとにテストをしていて、範囲が狭かったのですが、中学校になると学期ごとに実力テストと期末考査があつて範囲が広くて大変だと感じました。ですので、普段よりさらにテスト前は学習時間を増やすなど対策をしたのですが、あまり良い結果ではありませんでした。来年度は毎日の学習量を増やしていきたいです。2つ目は、部活動です。部活動は放課後毎日行つるので、最初は大変だと思いました。でも、先輩達が優しく接してくれたり、教えてくれたお陰で楽しく取り組むことができました。最後に行事です。今年から始まった迫中祭では3年生が中心になって計画を練り、実行するなど生徒が中心となって活動しているのがすごいと思いました。今年あまり計画などに関われなかったのが、来年度は、自分もかかわっていきたくてと思っています。来年度は2年生になり、後輩ができます。先輩になるので、この一年間の経験を生かして1年生をリードしてあげられるように、そして、3年生を支えられるように頑張りたいです。

(1年 菊地俊輔)

僕は、この1年間を振り返ると、たくさんの気づきがある充実した1年間を過ごすことができたと思っています。その一つに部活と勉強の両立をできるように「やりたいこと」と「やれること」を意識し、区別をつけてみようと思いました。しかし、はじめは「やらないといけない」と思いつつも、なかなか行動に移すことができず、やる気が出ない、眠くて仕方がないなどと言い訳をしているだけでした。そんな自分を変えようともう一度、「やりたいこと」と「やれること」の意識と区別を改め、目標を立て直しました。実際に忙しい日が多かったけれども、時間が無いわけではありませんでした。その時間の30分から40分程度で勉強をはじめました。自分は、はじめに5分ぴったり勉強し、やめるのが勿体ないと思うようなところでやめて「やる気」をおこしてから勉強を始める。この方法が自分にあった勉強法だと思いました。部活と両立しながら毎日きちんと自分から勉強したことで、いい結果につながってきていると実感しました。毎日家庭学習を自分から、そして先生方の話を聞いて勉強することで、結果が出たのだと思います。これからも常に目標をもち、向上心をもって取り組んでいこうと思います。

(2年 阿部楽生)

私は、生徒会執行部の活動を振り返ることで、反省点や来年度に向けての改善点、目標を見つけることができました。まず、各種委員会などの話し合いの場で自分から積極的に意見を出すことができなかつたことです。自分の頭の中では、意見を考えることができている、説明することができないなど言葉に対して相手に伝える難しさを痛感しました。来年度も執行部からの提案や中央委員会など、相手に意見を伝えなければいけない場面は多くあります。学校がよりよくなるために、自分の意見を伝えて活発な話し合いができるように努力していきたいです。

今年度後期執行部は、前期を経験した人が一人もおらず、全員が何もかも初めてでした。そのこともあり、先生に頼ってしまう部分が多くあつたと思います。また仕事内容を共有できていないことからのミスなど反省点も多く残りました。来年度は、全校生徒を引っ張っていく立場になるので、先生に頼るのではなく、自分たちで考えて行動し、全校生徒をリードしていきたいと思っています。そのために計画を立てて、事前の準備をしっかりと行っていきます。最後に現在行っているあいさつ運動では、あいさつを返してくれる人が増えてきており、船迫中学校にあいさつが広まっていることを実感しています。今後もより良い活動になるように改善しながら、継続していきたいと思っています。来年度、今年以上により良い船迫中学校をつくっていくため執行部も努力していきます。全校生徒の皆さんのご協力も、よろしくお願いいたします。

(2年 小池琉璃)

## お知らせ

### ◎3月29日(火)の離任式について

9:00まで登校 9:15より離任式

\*離任式終了後、部活動はありません。

### ◎4月8日(金)の始業式について

8:15まで登校

\*7:50に新クラスを昇降口前に掲示します。

8:45~着任式・始業式

10:00~学級活動

10:40~入学式準備

12:20~昼食(弁当)

13:30~入学式

\*2,3年生下校予定時刻 15:10頃



始業式当日に持参するもの : 弁当, 雑巾, 筆記用具, ジャージ, 上靴, カバン (教科書を入れます)